



黒島魂

～しまごころ～

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

「わかれあい(ワクワク)」

強みを知り、強みを生かす・・・

バスケットボールW杯で、男子日本代表（AKATSUKI JAPAN）が、3勝を挙げて、アジア1位となり実に48年ぶりに、オリンピックの出場権を自力で獲得しました。私は、これまでバスケットボールの試合を生はもちろん、テレビでも観戦したことはありませんでしたが、世界ランキングで格上の国を、2度も逆転で倒したということをニュースで知って興味が湧き、最終のカーボベルデ戦を、テレビで観戦してみました。すると、やはりどのスポーツであっても国の代表としての意地とプライドのぶつかり合いは、観るものを引き付けますね。実にエキサイティングな戦いで、楽しく観戦できました。あまりに楽しくて、誠に勝手ながら、今後も「AKTSUKI JAPAN」を応援していこうと思ったほどです。



さて、その「AKTSUKI JAPAN」を率いるのが、東京オリンピックで、バスケットボール女子日本代表の監督として、チームを初の銀メダルに導いた、トム・ホーバスさんです。彼が男子日本代表を世界と戦えるチームにするために、目をつけたのが、日本の豊富な運動量と得点効率の高い3点シュートです。選手は猛練習に耐え、驚異のスタミナと3点シュートの技術を高めて試合に臨み、見事オリンピックの出場権を獲得するに至ったわけです。日本チームの「短所」である体格差を補うのではなく、まさに日本人の「長所」である、勤勉さと忍耐力、手先の器用さ等を「強み」にして、それを徹底的に生かした結果であると考えます。

この「強みを知り、強みを生かす」指導は、まさに現代の学校教育がめざすものです。子供たちは、それぞれ個性があり、得意なこともあれば、苦手なこともあります。これまでの教育は、どちらかといえば「苦手なこと」の克服に重きをおいていました。私の高校時代、私の学年は、模試等の結果が、他校と比べて良くなかったため、当時の進路指導主事の先生は、事あるごとに「あなたたちは最低です！」と仰っていました。励ましの意味も込めてであるとは思いますが、その言葉を浴びるたびに気持ちが落ち込んでいったことを今でも思い出します。戦後日本が一体となり、欧米諸国に追いつき、そして追い越すこと目標とした時代であれば、それも必要なことであつたのかもしれませんが。しかし、その目標を達成し、熟成の時代に入った現代の教育は、その「苦手なこと」は、ICT等を活用しながら補いつつ、「得意なこと」を更に伸ばして「強み」にしていくことを推進していく必要があります。その「強み」は、予測困難な時代を逞しく生き抜く支えとなるからです。それは、別の言い方をすれば「褒めて伸ばす教育」であると考えます。「もっと〇〇を、がんばりなさい！！」ではなく、「あなたの〇〇は、素晴らしいです！凄いです！」という声をかけ、子供の自己有用感、達成感等を高め子供自ら進んで自分自身を高めていくことができるよう支援していく教育です。



本校では、以前からお知らせをしていますように、子供たちが、予測困難な未来社会を逞しく生き抜くための「学力向上」をめざし、日々の授業改善に努めています。今後、「強みを知り、強みを生かす」ための一環として、その授業の最後に、必ず子供たちの授業でのがんばりを認め、賞賛する時間を設けていきます。時間にすると、1分もなく場合によっては30秒にも満たないかもしれませんが。しかし、1日6時間、毎時間、毎日積み重ねていくことで「褒めて伸ばす教育」を推進し、授業をとおして、子供一人一人の「長所」を「強み」としていきます。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

9月1日（金）、生憎の雨模様でしたが、シーカヤック体験学習を実施することができました。

過去2年間同様、今回も研修会と重なり、私は残念ながら参加できなかったのですが、教職員が撮影した写真等を、後日確認したところ、子供たちが実に楽しそうに活動している様子を見ることができ、実施できてよかったと心から安堵したところです。

これもひとえに、多くの保護者・地域の皆様のご理解とご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

